

ホワイトボードの 教授

「私は・・・・・・・・文章が得意なのです」

教授はホワイトボードをバンッ！！！！

と叩いた。

教授は小さな原稿に文章を書いて

丘の上の印刷工場にそれを毎週水曜日と土曜日の二回送っている。

締め切り日に間に合うようにしっかりと書いている。

青緑の丘の

印刷工場は煙突から空に向けて

空の読者へと原稿を送る・・・・・・。

..... 詩に近いのではあるが

教授は

そのポエムを絵に近いと捉えている。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。